

東京工芸大学 アニメーション学科学生が TOTOトイレ川柳20回記念アニメーションの制作に参加

東京工芸大学（所在地：東京都中野区 以下、本学）芸術学部アニメーション学科学生たちが、TOTO株式会社が6月17日（月）に公開したアニメーション、「TOTOトイレ川柳20回記念1（ワン）ロールシアター」の制作に参加しました。

TOTOトイレ川柳とは、川柳を通じてトイレをもっと身近に感じてもらうことを目的に、TOTO株式会社が2005年から毎年企画しているものです。トイレにまつわるエピソードや想いを川柳形式で一般公募し、優秀作品には賞が与えられます。2005年から2023年の間で、累計応募句数は52万句を超えています。

今年で20回目を迎えた「TOTOトイレ川柳」の募集開始記念として、日常や家族の生活が詠まれた過去の句を使用して、トイレットペーパーに手描きしたアニメーション「TOTOトイレ川柳20回記念 1（ワン）ロールシアター」が制作され、6月17日（月）からWeb上で公開されています。このアニメーション制作には、本学アニメーション学科の学生と教員が制作に参加しています。

山中研究室所属の学生を中心とした14名と山中准教授が、アニメートされた原画を元にトイレットペーパーに1コマ1コマ手描きで行なった描画作業は5月31日（金）～6月1日（土）の2日間、本学中野キャンパス2号館アニメーション学科の研究室で行われました。それをコマ撮りしたトイレットペーパー1ロール（約110m）分に描かれたイラストは、原画600枚相当になります。

参加した学生からは、「滲むのが難しかった」、「破れていたトイレットペーパーがあったが、破れた部分も味になる。トイレットペーパーに描く意味になった」と話します。

制作時の様子を収めたメイキング映像も同時公開され、学生たちの制作に込めた思いやこだわりを知ることができます。

このアニメーションは、「TOTOトイレ川柳」公式サイトや公式YouTubeで公開されています。また、TOTOミュージアム（福岡県北九州市）の休憩ラウンジでも、2024年6月19日（水）～2025年3月末（予定）まで上映されます。

■「TOTOトイレ川柳」公式サイト

URL:<https://jp.toto.com/knowledge/useful/senryu/top/>

■描画を担当したアニメーション学科参加者一覧

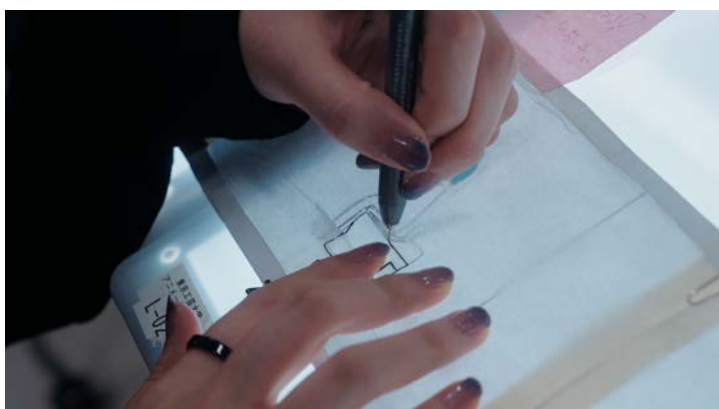
3年：駒崎鈴美香、池上優也、井上莉多、尾嶋倅、XU WANYU、周シン旭、白井陽人、高尾陽太郎、ファンク空、山下優季、
吉田菜々美、鈴木伶奈、佐藤維

4年：ZHONG JIAHENG

教員：山中幸生准教授



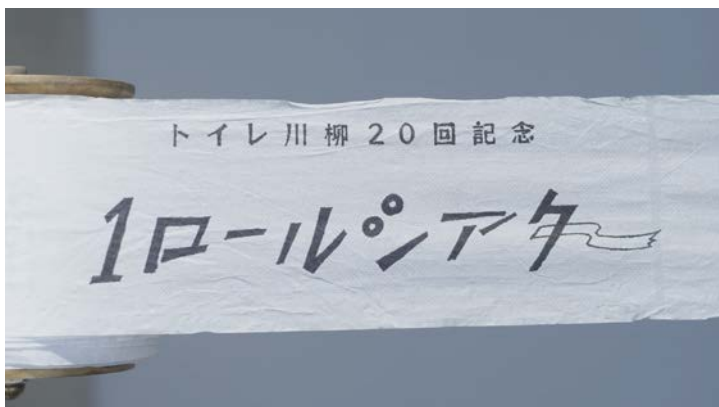
学生による「TOTOトイレ川柳20回記念1(ワン)ロールシアター」描画作業の様子



学生による「TOTOトイレ川柳20回記念1(ワン)ロールシアター」描画作業の様子



学生による「TOTOトイレ川柳20回記念1(ワン)ロールシアター」描画作業の様子



公開された手描きしたアニメーション「TOTOトイレ川柳20回記念1(ワン)ロールシアター」

本リリースに関するお問い合わせ

学校法人東京工芸大学 総務・企画課 広報担当 TEL:03-5371-2741 MAIL:university.pr@office.t-kougei.ac.jp